

I-37

江東区深川北スポーツセンターのスポーツ教室のプログラム内容について  
 - スポーツ活動の大衆化と地域スポーツ施設に関する研究 -

On the contents of the Sports Lesson Programs of "FUKAGAWAKITA" Sports Center  
 - A Study on Populalization of Sports Activities and Community Sports Facilities -

○大平 渉<sup>1</sup> 渡辺富雄<sup>2</sup>  
 Wataru Ohira<sup>1</sup> Tomio Watanabe<sup>2</sup>

The purpose of this study is to discuss various sports activities and sports rooms (arena, pool, multipurpose sports room, etc) at community sports centers. As a typical example, we took the "FUKAGAWAKITA" Sports Center.

Based on statistical materials by facility, following points are mentioned: ① Contents of sports programs, ② Relationship between sports Lesson program and participants, ③ A variety of sports activities at each sports rooms

1. はじめに

余暇時間の増大や経済成長一辺倒への反省から生じた国民の生活意識の変化に伴い、スポーツが一層市民に身近なものとなってきた。近年はオリンピックやW杯での日本人選手の活躍により、国内のスポーツの熱が高まっている。こういった背景から地域ではスポーツ教室等の普及活動が進み、スポーツの大衆化・地域化・レクリエーション化が進展するようになった。

2. 目的と方法

江東区では区内に設置された6つの地域体育館を中心にして、区民の体力・運動能力の向上を目指すとともに、生涯スポーツや競技スポーツとの連携を図っている。2002年12月に竣工した江東区深川北スポーツセンター(以下、深川)は、「地域の人々の出会いとスポーツ施設による交流の場」として広く区民に親しまれる施設づくりを目指し、近年のスポーツの大衆化にこたえようとしている。施設は、従来のスポーツ施設の閉鎖的空間構成からの脱却を図る建築形態の施設として特徴的である(図1)。

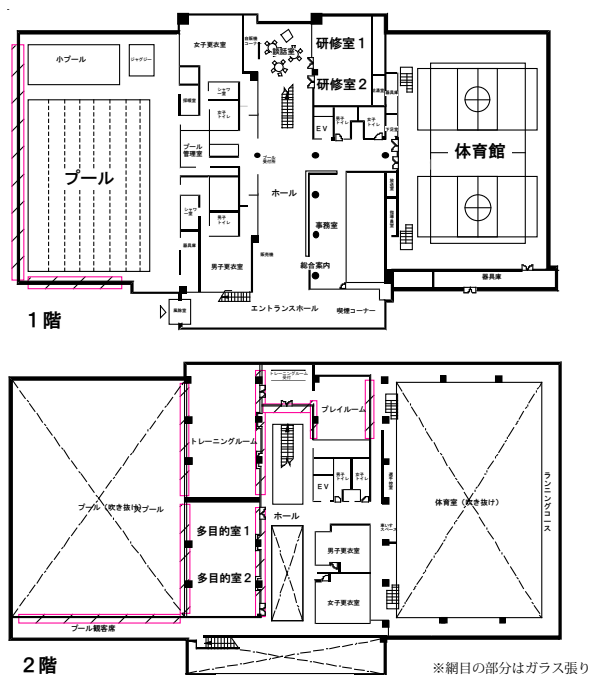
今回の研究ではこの「深川」をケーススタディとして、スポーツ施設内で行われているスポーツ教室のプログラムの内容・利用者の構成を調査した。調査方法として、施設のHPとパンフレットを参考にした。

3. プログラムの内容

図2は、2012年9月第3週の一週間に行われた各諸室(体育館・多目的室・研修室・プール)の利用内容の利用時間の割合を示したものである。各諸室のスポーツ教室の利用の時間の割合は、多目的室が25.3%と最も高く、続いてプールが22.1%、体育館が16.8%、研修室が9.2%となっている。

図3は、各諸室のスポーツ教室の対象者別(一般・親子・幼児・60歳以上)の構成の割合を示した。一般向けの教室だけでなく幅広い年齢層に向けてプログラムが行われている。スポーツが特定の年齢層に限定されるのではなく、多様な年齢層を含む地域住民にむけて開放されてきていることがわかる。

図1. 深川北スポーツセンター平面図



建物概要 (2002年12月竣工)

設計・監理: (株)松田平田設計、構造規模: RC/S造・地下1階、地上2階  
 建築面積: 3,648.87㎡、延床面積: 5,477.04㎡  
 主な施設内容: 体育館(840㎡)、プール(25m×15m)、トレーニング室(221㎡)、多目的室(180㎡)、プレイルーム(80㎡)、研修室(114㎡)

図2. プログラム内容の利用時間の割合 (2012年9月第3週)

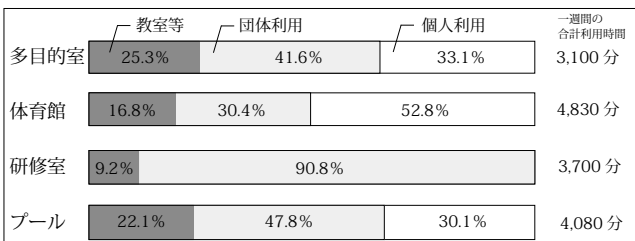
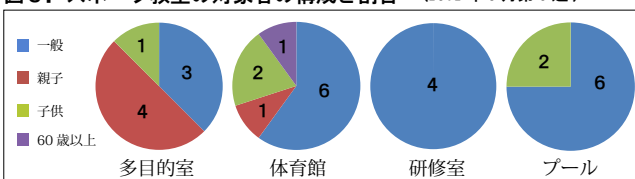


図3. スポーツ教室の対象者の構成と割合 (2012年9月第3週)



1: 日大理工・院・建築  
 2: 日大理工・教員・建築

Graduate Student., Dept.of.Arch., CST., Nihon Univ.  
 Associate Prof., Dept.of.Arch., CST., Nihon Univ.

#### 4. スポーツ室別にみたプログラムの内容 (表 1)

##### 4-1. 多目的室

スポーツ教室が最も多く行われている空間である。一般・親子・子供・60歳以上という対象年齢に対して、教室数の偏りはあまりみられない。種目はヨガやエアロビ、体操といった体力・運動能力の向上を目指した種目がメインとなっている。個人利用として開放されているプログラムもヨガやエアロビ、ストレッチといった内容であり、スポーツ教室の種目とほとんど同種である。

##### 4-2. 体育館

体育館では 10 種目のスポーツ教室が行われ、バレーボールコート 1 面分を一つのスポーツ教室が利用している。アリーナ空間を必要とする競技であるバドミントンやミニバスケットという種目が行われている一方、ヨガや太極拳、フラダンスといった必ずしもアリーナ空間でなくてもよい種目も行なわれている。つまり多目的室で行なわれる同種のプログラムの定員数を増やして、より広い空間のアリーナで行っていることがわかる。ちなみに個人利用の種目では、卓球・バドミントン・バスケットボール・バレーボールが解放され、自由に参加可能となっている。

##### 4-3. 研修室

研修室では団体への貸切が利用時間のほとんどを占めるが、一部多目的室で行われている種目と同種のプログラム内容が行なわれている。多目的室で利用しきれないプログラムを研修室で対応しているようなかたちである。多目的室とは床材も異なり、部屋が小さいにもかかわらず定員数は同数であることから、利用のしやすさは多目的室よりも劣るはずである。

##### 4-4. プール

大プールは 7 コースあり、スポーツ教室が利用する場合は 4 コースは個人利用として常に解放され、残りの 3 コースと小プールを使って教室利用をしている。親子を対象とした教室利用を複数の曜日に行い、一般への教室も多種のプログラム内容であることがわかる。土日はほぼ個人利用に解放され、平日は教室利用・団体・個人の利用者がそれぞれバランスよく利用している。

##### 5. まとめと今後の展開

①地域スポーツ施設では多様な年齢層と種目のスポーツ教室が積極的に行われている。

②スポーツ教室は体力・運動能力向上のための内容が主であり、多目的室を中心にして展開されている。

今後の課題としては、スポーツルールによって画一化された空間になりがちなスポーツ施設が、近年のスポーツ活動の多様化・地域化をうけて、地域交流スペースなどがどのように計画されるべきか調査する必要がある。

表 1. スポーツ室別にみたプログラム内容 (2012 年度プログラム)

多目的室 (180㎡)		教室等	定員	対象	時間
	ヨガ	25人	一般男女	90分	
	エアロビクス	25人	一般男女	90分	
	ほぐしのヨガ	25人	一般男女	90分	
	目覚めのヨガ	25人	一般男女	80分	
	カンガルー体操	20組	幼児と保護者	50分	
	コア体操A	20組	幼児と保護者	50分	
	コア体操B	20組	幼児と保護者	50分	
	ベビータッチ	25組	幼児と保護者	50分	
	ヒップホップ	25人	小学6年~中学生	90分	
	キッズダンス	25人	小学1年~6年	75分	
ガールズチア	25人	小学1年~6年の女子	80分		
転ばぬ先のトレーニングA	30人	60歳以上の男女	90分		
転ばぬ先のトレーニングB	30人	60歳以上の男女	90分		
	体育館 (840㎡、バスケットボール 1 面、バレーボール 2 面)				
	教室名	定員	対象	時間	
	牽らくヨガ	50人	一般男女	80分	
	太極拳	50人	一般男女	90分	
	ハワイアンフラ	50人	一般男女	80分	
	バドミントン	50人	一般男女	90分	
	ピラティス・ヨガ	50人	一般男女	80分	
	ソフト・エアロ	50人	一般男女	90分	
	こども体操	40人	幼児と保護者	60分	
	親子体操	35組	幼児と保護者	60分	
ミニバスケット	50人	小学1年~6年	90分		
シルバー体操	25人	60歳以上の男女	90分		
	研修室 (114㎡)				
	教室名	定員	対象	時間	
	リラックス・ヨガ	25人	一般男女	90分	
	フライデー・フラ	25人	一般男女	80分	
	目覚めのヨガ	25人	一般男女	80分	
	パワー・ヨガ	25人	一般男女	90分	
	入門ガールズチア	25人	小学1年~6年の女子	80分	
ステップUPガールズチア	25人	小学1年~6年の女子	80分		
	プール (大プール 25 × 15m、小プール 12 × 5m)				
	教室名	定員	対象	時間	
	一般水泳	50人	一般男女	90分	
	リフレッシュ水泳	50人	一般男女	90分	
	アクアビクスnナット	50人	一般男女	75分	
	ビギナーズ水泳	50人	一般男女	90分	
	フライデーアクアビクス	35組	一般男女	75分	
	女性水泳	40人	一般女性	90分	
	こども水泳火曜A	60人	幼児と保護者	60分	
	こども水泳火曜B	60人	幼児と保護者	60分	
	こども水泳金曜A	60人	幼児と保護者	60分	
	こども水泳金曜B	60人	幼児と保護者	60分	
	幼児水泳	50人	幼児	60分	
こども水泳					

##### 【参考文献】

- 1) 大平渉 他, 「近年の公共体育館の施設傾向についての一考察 - 雑誌『月刊体育施設 1995 年~ 2010 年』に掲載された施設を事例にして-」日本建築学会大会学術講演梗概集 (関東)2011.9
- 2) 木村郷美, 「スポーツ施設の親子利用者からみたオープン化に関する研究」日本大学理工学部建築学科卒業論文, 2011.1
- 3) 体育施設出版「月刊体育施設 Sports Facilities」2004.2
- 4) 上和田茂, 「我が国の戦後における公共体育館計画の変遷に関する研究」、地域施設計画研究 15、日本建築学会建築計画委員会地域施設計画小委員会、1997.7、p153~160
- 5) 上和田茂, 「地域体育館のオープン化とコート周り空間に関する研究・その1~3」、日本建築学会計画系論文報告書、1986.8、1986.10、1987.8
- 6) 江東区深川北スポーツセンター HP [http://www.koto-hsc.or.jp/sports\\_center6/](http://www.koto-hsc.or.jp/sports_center6/)